

東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業 概要

1. 事業の目的・概要

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に、本県選手を 1 人でも多く輩出するため、ジュニア世代の選抜選手及び障害者アスリートを強化する取組へ助成する。

2. 事業内容

(1) 対象及び助成内容

競技団体等作成の競技力向上計画に基づく各種取組に対し、補助率 10/10～1/2 で助成。

対象者	東京オリンピック実施 3 3 競技のジュニア世代選抜選手（平成 28 年度：14 歳～24 歳）	東京パラリンピック実施 2 2 競技の選抜選手（平成 28 年度：12 歳以上）
助成対象となる取組み	海外遠征の実施 国内遠征の実施 競技用具の整備 トップレベル指導者の招聘 等	合同練習・合同合宿の実施 海外遠征の実施 国内遠征の実施 競技用具の整備 等
事業実施機関	千葉県競技力向上推進本部	千葉県障がい者スポーツ協会

(2) 強化期間

2014 年度（平成 26 年度）～2018 年度（平成 30 年度）

3. 指定基準（競技団体推薦基準）

- ・各世代の日本代表選手
- ・全国大会上位者（個人 3 位以上）
- ・過去の成績や競技記録等が全国大会上位者と同等であると認められる者。



強化指定証授与式の様子（平成 28 年 7 月 13 日）

4. 指定実績

		平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
オリンピック部分	特別強化指定（個人）	144 名 [12/21 指定 21 名含む]	126 名	120 名
	基礎強化指定（個人） （団体）	148 名 13 団体	218 名 13 団体	411 名 12 団体
パラリンピック部分	特別強化指定（個人）	48 名	40 名	
	基礎強化指定（個人） （団体）	44 名 3 団体	50 名 3 団体	

平成 26 年度は「めざせ東京オリンピックちばジュニア強化事業」としてジュニア世代の強化指定及び助成を実施。平成 27 年度から障害者アスリートを対象に追加し、本事業名で実施。



リオ大会メダリストの県民栄誉賞等授与式の様子（平成 28 年 10 月 17 日）

参考）強化選手のリオデジャネイロ五輪・パラリンピックでの活躍状況

リオデジャネイロ五輪には、強化指定選手（過去年度指定含む）が 11 名出場し、メダル獲得 2 名を含む 6 名が 8 位以内入賞。パラリンピックには 16 名が出場し、メダル獲得 9 名を含む 12 名が 8 位以内入賞を果たした。